

急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）

千葉県の急性脳炎は、2010年31例、2011年25例、2012年48例、2013年32例、2014年55例、2015年1～33週に33例の届出があった。そこで、2015年1～33週に届出された33例の発生状況をまとめた。

表2 2010年～2015年33週千葉県の急性脳炎 性別・年齢群別届出数

年齢群	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
5歳未満	16	4	3	9	15	17	10	9	19	11	10	8	73	58
5～9歳	1	4	4	5	6	3	5	5	5	3	5	0	26	20
10代	1	0	2	0	5	2	2	0	8	0	3	1	21	3
20代	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	2
30代	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4	1
40代	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	2
60代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
70代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
合計	21	10	10	15	26	22	18	14	36	19	22	11	133	91

性別は、33例中男性22例（66.7%）、女性11例（33.3%）と男性が多かった（表2）。

年齢群別では、5歳未満18例（54.5%）、5～9歳5例（15.2%）が多かった（表2）。

保健所別では、千葉市9例、市川9例、松戸7例、市原3例、山武2例、習志野1例、海匝1例、安房1例だった。

病型として記載のあった病原体は、インフルエンザウイルス8例（24.2%）（A型4例、型不明4例）、ヒトメタニューモウイルス1例（3.0%）、ヘルペスウイルス1例（3.0%）、病原体不明23例（69.7%）だった

症状等として記載があったのは発熱29例（87.9%）、意識障害27例（81.8%）、痙攣22例（66.7%）、嘔吐9例（27.3%）、髄液細胞数の増加6例（18.2%）、頭痛5例（15.2%）、項部硬直4例（12.1%）だった（複数報告あり）。

図2 2015年千葉県の急性脳炎診断週別届出数 33例

